

学会名称の変更について

会長 遠山 暁

学会名称検討特別委員会

平素から学会の運営にご協力を頂きましてありがとうございます。

さて、2006年度第1回理事会および総会において、次の理由により学会名称を検討することが承認されました。

- ①「オフィス・オートメーション」という概念を、いかに拡大解釈しようとも、必ずしも現在の学会における研究活動の実態を反映していない。
- ②前会長自身、晩年には名称変更を何人かの会員に相談しつつ、模索され始めていた。
- ③しばしば会員からも変更すべきではなかろうかという意見が寄せられている。
- ④会員の減少傾向が加速し、若手研究者の入会が少ない。OAが過去概念になりつつあるために、若手研究者にとっての「研究発表の場」としての参画モチベーションを低下させていることも推定できる。

これを受けて、学会名称検討特別委員会を設置して慎重に審議を進めてきました。そして、第2回理事会において新しい名称および学会のビジョンとミッションを次のように決定し、臨時総会では賛成多数でご承認を頂くに至りました。

1. 学会名称 日本情報経営学会(Japan Society for Information and Management)

2. 学会のビジョンとミッションについて

「当学会は、公企業その他組織体の健全な発展およびそれら組織体の運営主体である人間の健全な成長発展を研究対象の二軸とする。そして、とくに情報のもつ包括的、連続的、創発的な機能や役割の支援、助力を得て、これらの二軸の優れて相補的な関係性の実現に資することを使命とする。その研究過程では、必然的に組織体や人間社会が相互に生み出す健全な姿を想定し、理論及び実践の両面から考究することになる。

学問研究としては、情報システムにかかわる理論と実践、研究と実務、基礎と応用、技術と人間などの有機的相互関係が学際的に展開される。より具体的には、社会科学および人文科学、自然科学との統合理論の構築が指向される。

ボーダーレス時代を迎えた今日、情報を経営の枠の中であらためて考え直すことの積極的な意味が問われている。非連続的状態や予測不可能な状況の日常化のなかで、唯一頼りになるのは、情報のもつ固有の機能、役割である。高品質な情報特性、問題提起的・発見的な情報特性、環境検索型情報特性、意味のあいまいな意思決定を支援する情報特性などは、限りなく人間系や経営系を推進する固有の情報システム構築に欠かせない分析、考究対象になる。」

以上の結果によりまして、**2007年の4月1日**より新しい学会名称を使用することになります。理事会はあたらしい名称に移行するための準備と同時に、学会がより活性化するために十分な努力を

続けていきます。

会員のみなさまにおかれましては、今後とも、学会活動にご協力とご支援をいただけますようお願い申し上げます。

なお審議の過程を明確にするために、その経過を示しておきます。この学会名称の変更等につきまして、ご質問等がございましたら学会事務局までお問い合わせください。

審議の経過

- ①(2006年5月29日) 常任理事に対して、来る2006年春季大会での理事会、総会において、会長提案による審議事項の一つとして「学会名称の変更について」を取り上げることを、電子メールの持ち回りにて諮る。常任理事からの回収意見は、すべて否定意見はなく、むしろ進めるべきであるという賛成意見が寄せられ(4件)、また具体的提案(2件)も出される。
- ②(2006年6月2日) 理事会にて、全会員にアンケートをとり、その結果を受けて、常任理事会と組織員会と総務委員会で組織する検討委員会にて審議して、可能であれば、秋季大会での理事会、総会に結果を諮ることで、承認を受ける。
- ③(2006年6月3日) 総会にて審議、前日の理事会と同じように承認を得る。
- ④(2006年6月14日) 全会員に名称変更に関するアンケートを、提案理由を付して、実施する手続きをとる。
- ⑤(2006年7月15日) アンケートの締切り、名称変更提案2件、変更賛成意見9件、反対意見なし。
- ⑥(2006年7月24日) 理事全員に電子メールにて、再度、名称変更に関するアンケートを行う。
- ⑦(2006年8月10日) 総計19件(6月14日のアンケート送付手続き以後合算、2件は、再提案)が寄せられる。名称変更全員賛成、名称提案がなされる。ただし、1件のみが、変更時期を学会として記念すべき年などが妥当であろうとする意見が付帯される。
- ⑧(2006年8月26日) 常任理事会と学会名称検討特別委員会において、アンケート結果をもとにして、長期性・広域性・独自性、さらに学会の歴史や大会の発表テーマなどを考慮して、知識・情報経営学会、経営・情報資源学会、日本情報経営学会の三案を理事会に付することになる。
- ⑨(2006年9月16日) 理事会において学会名称検討特別委員会から提案された3案について議論した。その後、理事の投票により日本情報経営学会に決定する。
- ⑩(2006年9月17日) 臨時総会において質疑・応答の後に、あたらしい学会名称が賛成多数で承認される。